



山村と企業をつなぐフォーラム

令和8年2月25日

森林利用課 山村振興・緑化推進室

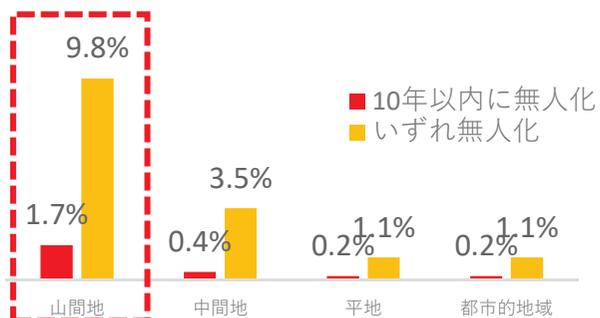
林野庁

森林をめぐる状況①

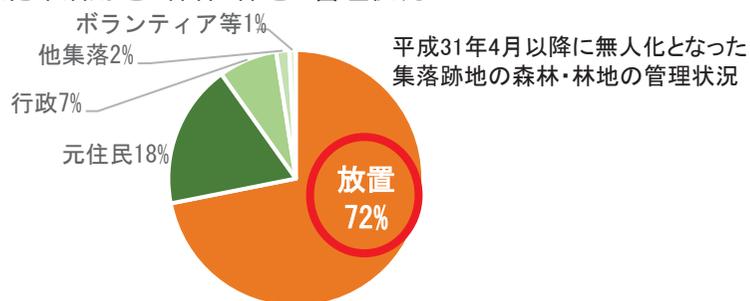
- 山間地では、高度経済成長期以降、都市部への著しい人口流出があり、全国に先駆けて人口減少や高齢化が進行。集落が無人生化するにより、森林・林地の放置の増加が課題。
- 内閣府「森林と生活に関する世論調査」(R5)では、成人の5割は過去1年間に1度も森林に行っていないと回答している一方で、8割以上が日常生活の中で、散歩やウォーキング等森林で何らかの活動を行いたいと回答しており、森林内での活動について潜在的なニーズは高い。

人口減少

○ 集落の無人化の可能性



○ 無人化集落跡地と森林・林地の管理状況

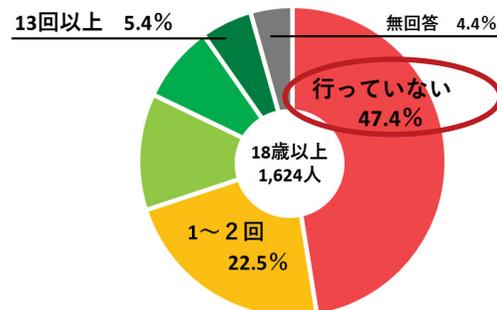


資料：国土交通省「令和6年度 過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査報告書」(令和7年3月)
 (上図) 過疎地域の集落への聞き取り調査による。山間地の定義：山間農業地域。林野率が80%以上の集落。
 (下図) 平成31年4月以降に無人化した集落(296集落)への聞き取り調査による(うち121集落の回答の結果。175集落は「該当なし」「無回答」)。

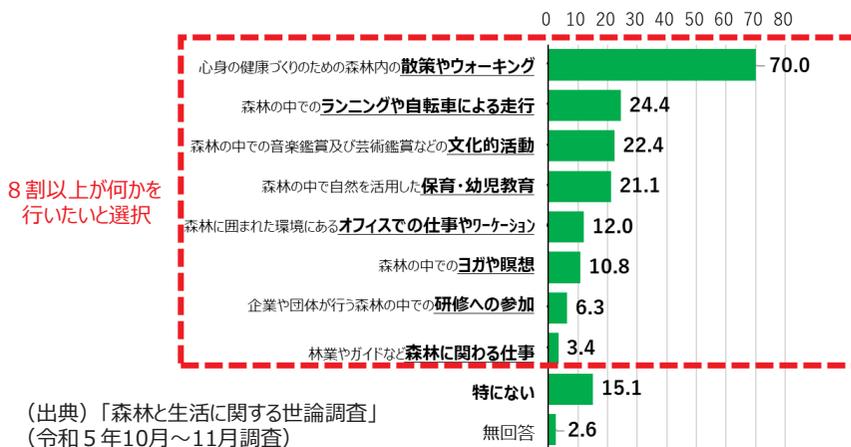
⇒全国に先駆けて人口減少・高齢化が進展しており、集落の無人化等による森林の荒廃等が課題

森林空間利用のニーズ

○ 過去1年間ぐらいの間に森林に行った回数



○ 日常生活の中で、森林でどのようなことを行いたい



(出典)「森林と生活に関する世論調査」
 (令和5年10月~11月調査)

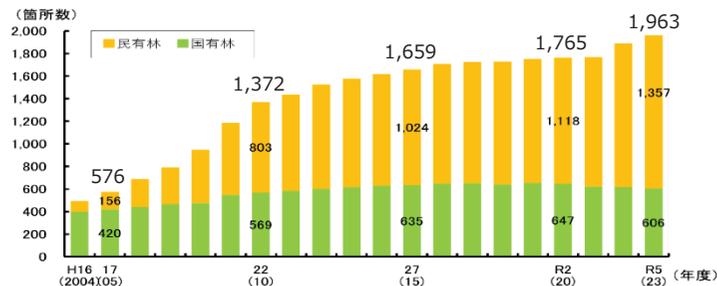
⇒8割以上が森林で何らかの活動を行いたいと回答しており、森林空間利用の潜在的ニーズは高い

森林めぐる状況②

- 地域や森林所有者等と連携した企業による森林づくり活動の増加や、気候変動に対する企業の関心の高まり等を背景として森林由来J-クレジットの創出が拡大しており、森林と企業の新たなつながりが進展。
- 農林水産地域における地方創生の実現に向けて、「地方みらい共創戦略」を策定・公表。この中で「森業」が位置付け。

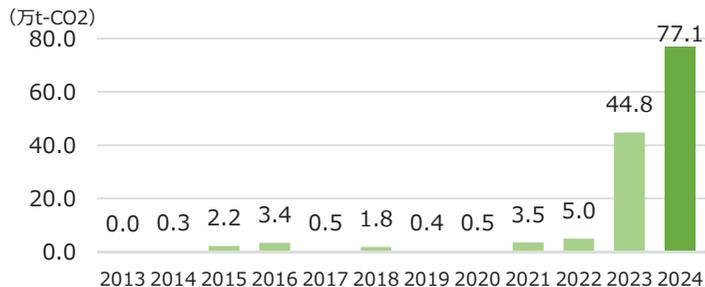
企業による森林づくり

○ 企業による森林づくり活動の実施箇所数



資料：林野庁森林利用課・経営企画課・業務課調べ
 注：私有林の数値については、企業等が森林づくり活動を行う森林の設定箇所数。
 国有林の数値については、「法人の森林」の契約数及び「社会貢献の森」制度による設定箇所数。

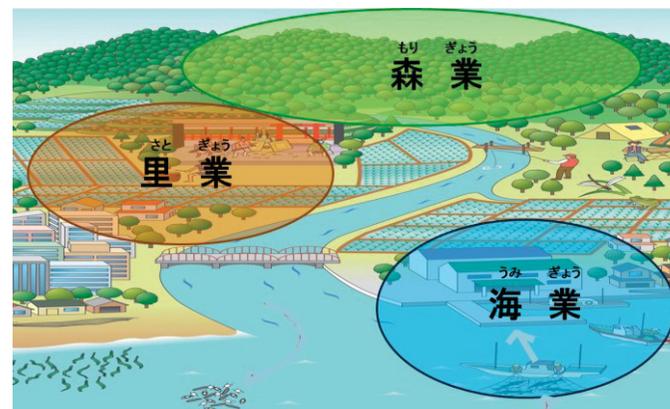
○ 森林由来J-クレジットの認証量



⇒ 企業による森林づくり活動の増加やJ-クレジットの認証量の拡大など、森林と企業の新たなつながりが進展

地方創生

- 令和6年12月に農林水産省に「地方みらい共創研究会」（座長：滝波副大臣）を設置し、「地方みらい共創戦略」を令和7年5月に策定・公表。
- 「地方みらい共創戦略」では、『森林空間を活用した体験サービスの提供等のように、木材供給にとどまらない環境保全や癒しなどの森林の多面的な機能に価値を見だし、地域の賑わいや所得向上と雇用を創出する「森業の推進」-即ち、山の地方創生-が重要。』と位置づけ。



※※ 里業：多様な魅力ある農業地域の資源を活かした取組
 森業：環境保全や癒しなどの森林の価値を活かした取組
 海業：海や水産地域の地域資源の魅力・価値を活かした取組

もりぎょう 「森業」の推進

□ 森林分野の山村振興は、林業の振興を軸に据えて推進してきたが、近年では、都市住民の潜在的ニーズに対応した森林空間利用や、企業による森林づくり、カーボン・クレジットの取引等もみられ、こうした取組を山村地域の活性化に繋げることが重要。

山村振興の目指すべき方向

従来の林産物供給サービスにとどまらない文化的サービスなど森林の提供する生態系サービスに価値を見だし、森林の総合的利用を進めていくことが重要

もりぎょう 森業

文化的サービスを始めとする森林の多様な生態系サービスの提供・活用により、人と森林の関係を深めるとともに、林業と相まって森林所有者に利益を生み出し、豊かな森林づくりにつなげる取組

～森業～

生態系サービス

（森林所有者等と異分野・多様な主体との共創による付加価値創出）

文化的サービス

自然景観の保全・レクリエーションや観光の場と機会 等



調整サービス
気候調整 等

生息・生育地サービス
生息・生育環境の提供 等

森業の例



● 森林浴



● トレイルライド



● 環境学習・林業体験



● 企業の森林づくり

人と森林の関係の深化

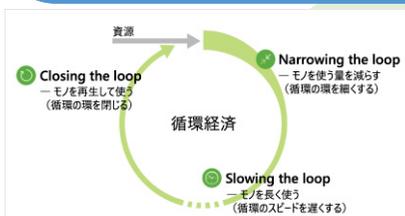
○ 関係人口の拡大・深化
○ 雇用と収入機会の創出
○ 森林管理の充実

山村地域の活性化・豊かな森林づくり

資料：森林の生態系サービスについては、環境省生物多様性センターホームページを参考に作成。

持続可能な社会に向けた企業と森林の関わり例

サーキュラー エコノミー (循環経済)



出典：環境省HP「脱炭素ポータル」

木材は再生可能資源、炭素を長期貯蔵

森林の有する 多面的機能発揮 (年間70兆円超)

ネット・ゼロ (温室効果ガス排 出量、差し引きゼロ)



森林浴

森林づくり

森林の里親

緑の募金

社員研修

ネーミングライツ

社員の well-being (健康・幸福)

メリット

- ・ ストレス軽減 ・ 創造力向上
- ・ 離職者減少
- ・ コミュニケーション活性化 等



TDKラム株式会社

企業版ふるさと納税

森林由来
J-クレジット



出典：環境省HP「ecojin」

森林におけるCO₂吸収量は、日本全体の8割以上を占める

ネイチャー ポジティブ (自然再興)

2030年までに生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる



出典：環境省HP「ネイチャーポジティブポータル」

令和7年度

山村と企業をつなぐ フォーラム

森のプログラムで
安らぎと
気づきを



開催趣旨

- ✓ 森のプログラムを提供する山村地域 と サービス利用に関心のある企業をつなぐ
- ✓ 森のプログラムを提供する山村地域 と 企業との間をとりもつコーディネーターをつなぐ
- ✓ 森のプログラムを提供する山村地域 と 地域と連携しサービスを提供したい企業をつなぐ
- ✓ 森のプログラムを提供する山村地域 に 企業ニーズ を届ける
- ✓ 幅広い企業 に 森のプログラムや山村地域の魅力 を届ける